



答弁中の中嶋町長



稲永 信英 議員

一般質問

ここが聞きたい!!

定額給付金と緊急保証制度を どう思う いずれにしても経済向上目的



森 勝己 議員

■問
所得の伸び悩み・物価高で家計が厳しい中、給付金が支給される明るいニュースがありますが、一部マスコミの論調をまねて「ばらまき」批判があるがどう思うか。給付金の効果的な支給方法はどのようになされるのか。

経済効果がないという批判もあるが消費押し上げになると思う。

年末、中小企業の資金繰りの応援緊急保証制度がスタートして1ヶ月余りになるが、町による金融機関に対しての資金供給への配慮、促進のPR等々、また周辺町の認定件数はどのようになっているのか。

■答 中嶋町長
給付金、保障制度は町民の個人消費を活性化し景気を下支えすると思えますが町長の考えは。

経済対策なのか、生活支援対策なのか、いずれにしても経済を向上させるという目的のためのものだと思います。

百年に一度の大不況というところで、国債の発行や公共事業イコール悪という認識がマスコミの報道によって植えつけられています。こういう時こそ公共事業に投資して経済状況を興すというケインズの経済手法が正しいのではないかと考えています。

給付金の効果的な支給方法については、郵送申請方式が良いと考えています。

緊急保証制度について、これは従来のセーフティネット保証制度の延長線上的もので10兆円程度あった枠が30兆円の枠に

■問
景気対策としての「定額給付金」については、給付基準・方法をめぐって迷走を重ねていたが、所得制限・支給の方法等の実務については各自治体に委ねられた。

この景気対策としての定額給付金は評価しないが、国民世論の半数以上にのぼり選挙対策のための「ばらまき」との批判や「景気浮揚対策につながる他の施策」に廻すべきだとの意見もあるように、この対策は歓迎されないものとなっている。

補正予算が通り、決定されれば多忙な年度末に膨大な事務的負担となる施策であるが、町長はどのように受け止め、どの

■答 中嶋町長
①給付基準日については、決まっております。

国の方も不確定な要素がいくつもあり今後の課題とされています。

支給の方法としては、いくつかあると思います。本町は、町が申請書を世帯主に送付し、世帯主より町へ口座指定をしていただき、町よりその口座へ振り込むという郵送申請方式を採用したいと

景気対策としての「定額給付金」支給は不確定な要素、今後の検討課題が多い

ように対応されるのか。

①給付基準日・支給方法は、

②所得制限はなされるのか。

③議員は、給付金を自主的に辞退すべきだと思うが。

④給付金を装った振り込め詐欺などの対策は。

①議員は、給付金をもらい、それを寄付するとなると公職選挙法違反になりま

すので辞退するという形になるのかと思いますが、私の方から強制するものでもないと思いますので、これは議員各位で考えら

思っています。

②全国町村会として、所得制限はしないというところで総務省へ申し入れをしています。

③議員が給付金をもらい、それを寄付するとなると公職選挙法違反になりま

すので辞退するという形になるのかと思いますが、私の方から強制するものでもないと思いますので、これは議員各位で考えら

れればいいことではないかと思えます。

④個人の責任が一番大事だとは思いますが、総務省も沢山の例を挙げ呼びかけるということですし、町としても広報・ホームページあるいは同報無線等により周知徹底をしたいと考えています。



緊急保証制度の窓口になっている「須恵町商工会」

なったもので、業種の拡大もあっています。

従来のセーフティネット保証制度の時、須恵町では68件、宇美町が78件、志免町が57件、粕屋町が69件、県全体としては、1万5157件の申請の申出があっています。町としましても申請が

あれば認定を行うという作業があるため、あえてこちらからしなさいというのはいかがかと思います。しかし、資金繰り対策のためには緊急保証制度というのを活用していただきたいとPRは行っています。